

取扱説明書

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

警告 感電、火災の恐れがあります。

1. ストープ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は5℃～35℃です。
2. スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
3. 電源コードやフットコントローラーのコードを傷つけたり、加工したり、はさみ込んだり、たばねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物をのせたり、高温部に近づけたりしないでください。電源コード、フットコントローラーのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
4. 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
5. 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
6. 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 - ・ミシンのそばを離れるとき
 - ・ミシンを使用したあと
 - ・ミシン使用中に停電したとき

注意 感電、火災、けがの原因となります。

1. お客様自身での分解はしないでください。
2. ミシンの操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。
3. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
4. 曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。
5. むい中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。
6. ミシンの通風口はふさがないようにください。
7. フットコントローラーの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
8. お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。

9. ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。
10. プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
11. 針、及び押さえは確実に固定してください。
12. 電源プラグを取扱うときには、以下の点に注意してください。
 - ・コンセントから抜くときは、必ずプラグを手で持って抜いてください。
 - ・濡れた手で使用しないでください。
13. 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
 - ・押さえ、アタッチメントを交換するとき
 - ・上糸、下糸をセットするとき
14. 以下のことを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 - ・ミシンのお手入れを行うとき
 - ・針、針板を交換するとき
15. ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理調整をお受けください。
 - ・正常に作動しないとき
 - ・異常な臭い・音がするとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
 - ・水にぬれたとき

《お取り扱いについてのごお願い》

◇ご使用前に

- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② ミナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。
- ◇いつまでもご愛用いただくために

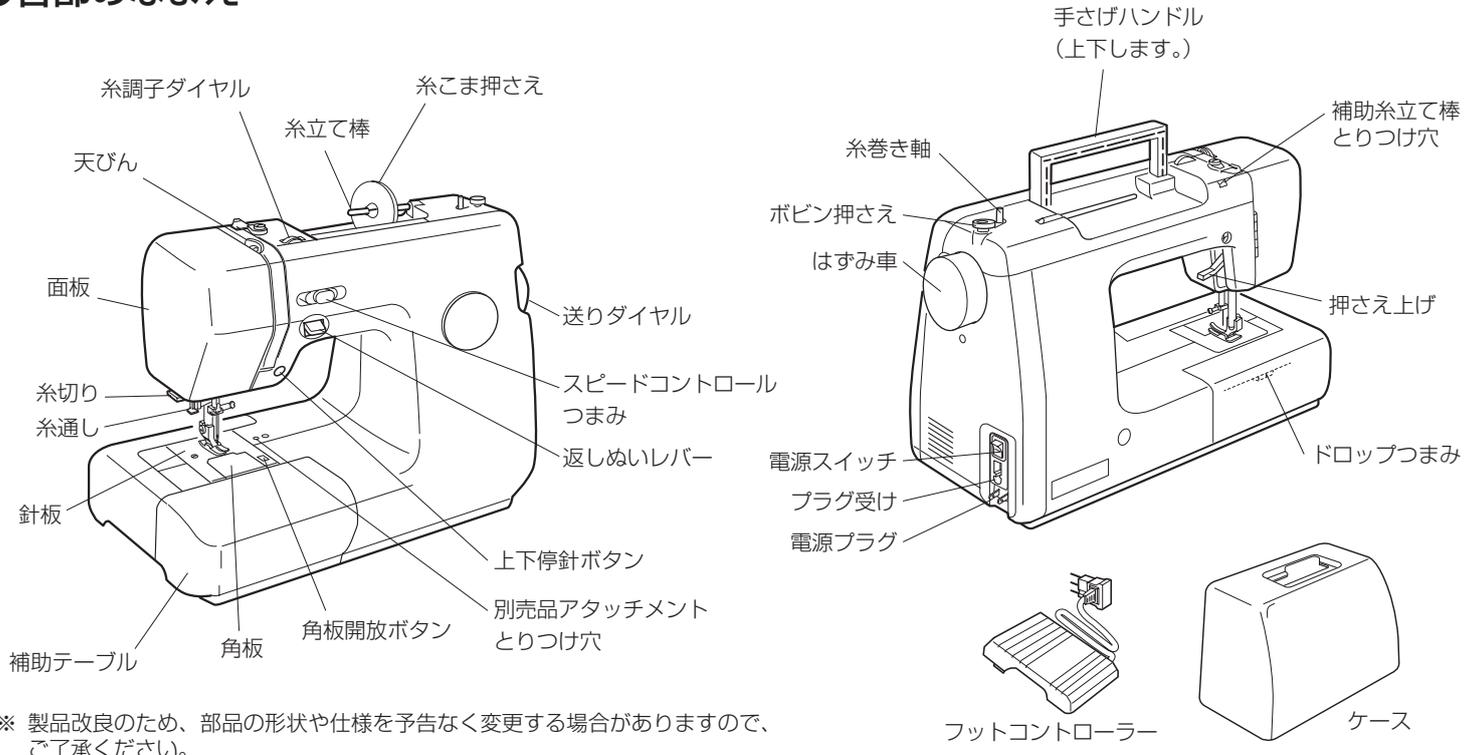
①長時間日光に当てないでください。

- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。

◇修理・調整についてのご案内

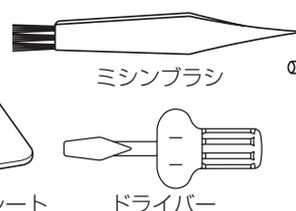
万が一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」により点検・調整を行ってください。

●各部のなまえ

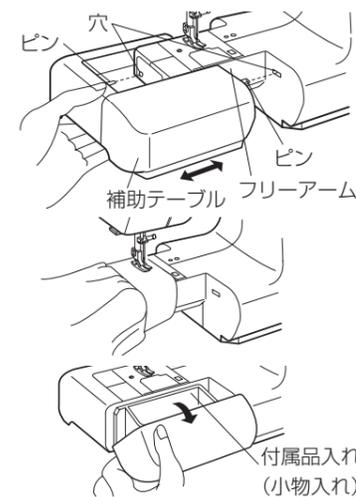


※ 製品改良のため、部品の形状や仕様を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

●標準付属品

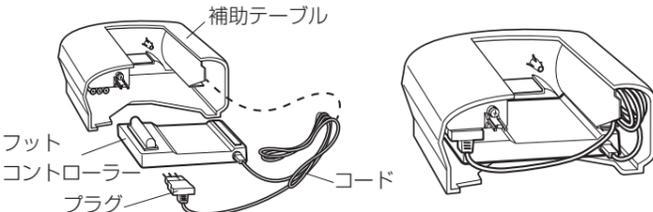


●フリーアーム



補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。
※補助テーブルを取り付けるときは、フリーアームに合わせ、ピンを穴に入れ、取り付けます。フリーアームはそでぐちやすそなどのぬい、および、ふくろ物のくち端の始末に利用します。補助テーブルを開けると、押さえ等の小物が収納できます。付属品入れます。(小物入れ)

●フットコントローラーの収納



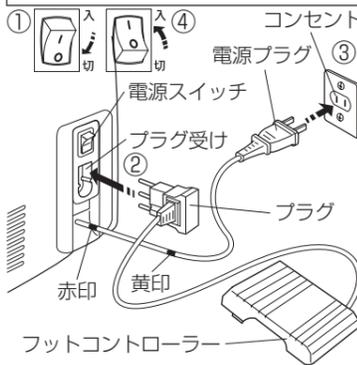
- フットコントローラーの底面を上にして図の向きに押し込みます。
- プラグを補助テーブルに差し込みます。
- コードを4つ折りにして、補助テーブルに収納します。

●電源のつなぎ方



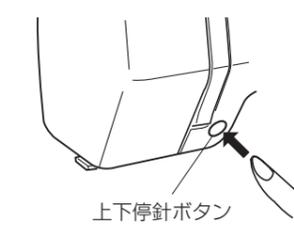
警告

- 電源は一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
- ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、火災の原因になります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどをとり除いてください。ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり、火災の原因になります。



- 電源スイッチを切ります。
- プラグをプラグ受けに差し込みます。
- 電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
※コードを引き出した時に黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。
- 電源スイッチを入れます。

●上下停針ボタン



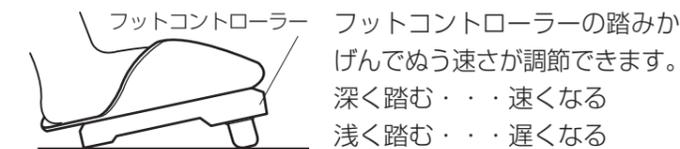
通常ミシンを止めると、針は下位置で止まります。上下停針ボタンを押すと、針は上位置になります。もう一度押すと、下位置になります。※上位置に切りかえた状態でぬうと、ミシンを止めたとき、針は上位置で止まります。

●スピードの調節

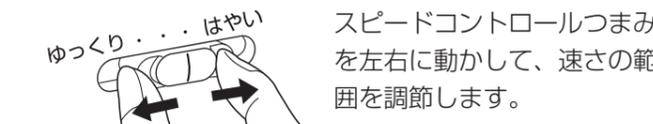


注意

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因になります。
- フットコントローラーを使用する際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。動作不良を起こし、けが・故障の原因になります。



※スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側の位置(最高速)にして、踏みかげんで調節してください。初心者の方が細かいものをぬうときなどは低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱい踏み込んでスピードが出ないので使いやすくなります。



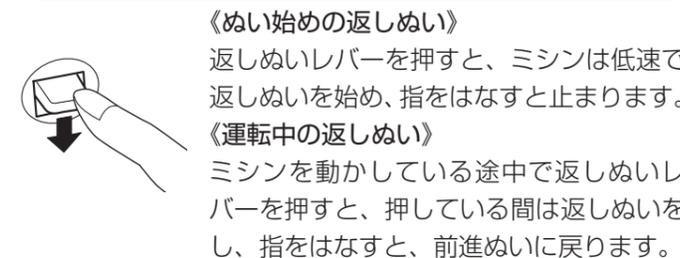
※フットコントローラーをいっぱい踏み込んだときの最高速度を調節できます。

●返しぬいレバー

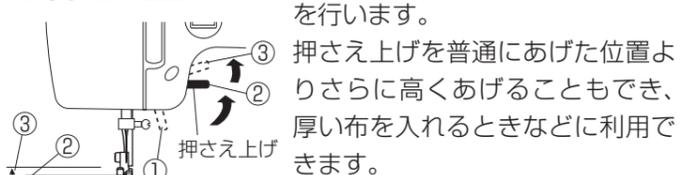


注意

電源を入れて、不用意に返しぬいレバーさげると、ミシンが動き出しますので注意してください。



●押さえ上げ



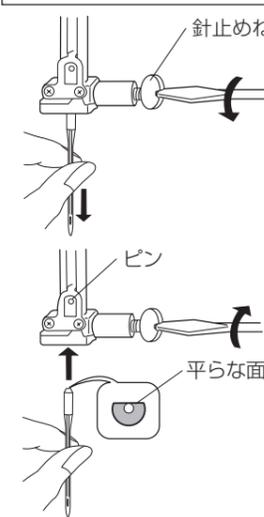
- さげた位置
糸通し使用のときと、ぬいのはじめのときは、さげておきます。
- 普通にあげた位置
布の取り出しや、上糸をかけるとき、押さえの交換のときにあげます。
- さらにあげた位置 (固定することはできません)
厚い布が入れやすくなります。

●針の取りかえ方



注意

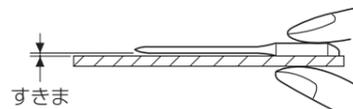
針を交換するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがの原因になります。



- はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをさげます。針止めねじを手前に1~2回まわしてゆるめ、針を外します。
- 取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けてピンにあたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっかりしめます。
※正しく針が付けられていないと、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物(針板など)に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。



●布に適した糸や針を選ぶ目安

布		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90番	9番~11番
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	絹糸 50番 綿糸 60番	11番~14番
		ポリエステル、ナイロン 50番~90番 綿糸 50番	
厚い布	デニム ツイード コート地	絹糸 50番 綿糸 40番~50番	14番~16番
		ポリエステル 40番~50番 ポリエステル 30番 綿糸 30番	

※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に、針と糸を選び、試しぬいをして確かめてください。

※通常は、上糸と下糸は、同じものを使用してください。

※伸縮性のある布(ジャージー、トリコット等)や目とびしやすい布地には、市販のSP針を使用すると、目とびの防止効果があります。

※うすい生地をぬう場合は、裏側に芯地をはるときれいにぬえます。

●ミシンのお手入れ

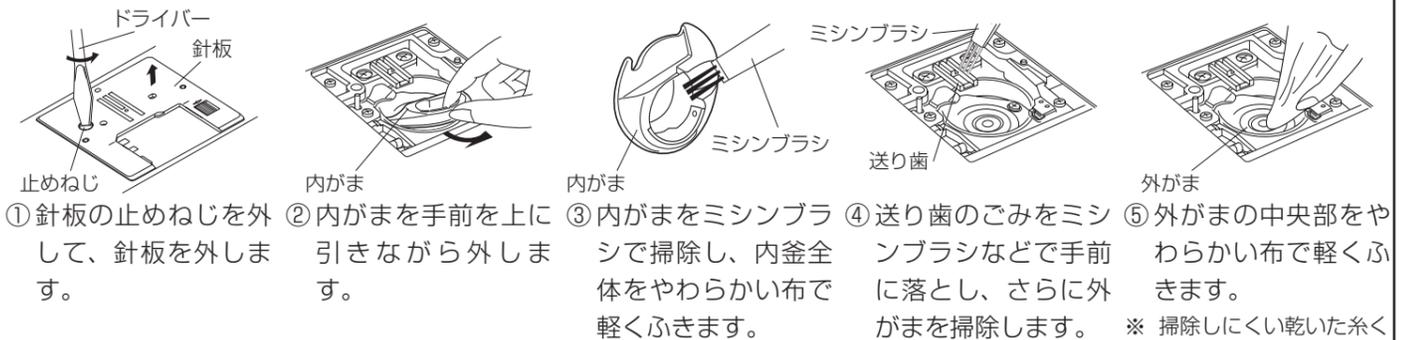


注意

★かまと送り歯の掃除

針と押さえを外し、角板を外してボビンを取り出します。

お手入れのときは必ず、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがの原因になります。
お手入れのときには、説明されている箇所以外は分解しないでください。けが、感電の原因になります。



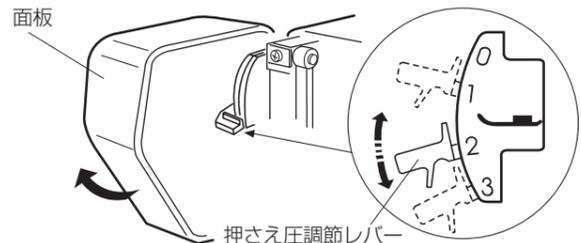
- 針板の止めねじを外して、針板を外します。
- 内がまを手前を上引きながら外します。
- 内がまをミシンブラシで掃除し、内釜全体をやわらかい布で軽くふきます。
- 送り歯のごみをミシンブラシなどで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- 外がまの中央部をやわらかい布で軽くふきます。
※掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

★内がまと針板の組みつけ



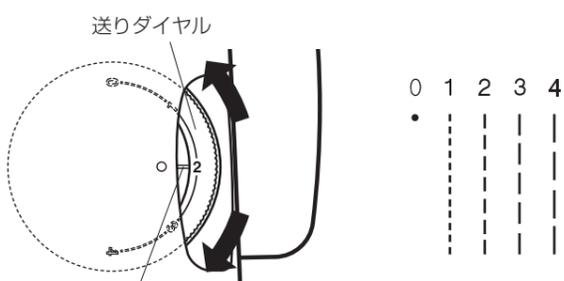
- 内がまを差し込みます。
- 内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ①に示す2箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ、止めねじをしめます。
※ボビン、角板、押さえ、針を取り付けます。

●押さえ圧調節レバー



普通ぬいときは、「2」。
厚地をぬうときは、「3」。
うす手の化繊地や伸縮性のある布地などは、「1」。

●ぬい目長さの調節



ぬい目のあらさをかえるときは、送りダイヤルをまわして目盛りを指示線に合わせます。
数値を大きくすると、ぬい目が長くなります。

●押さえホルダーの外し方、付け方

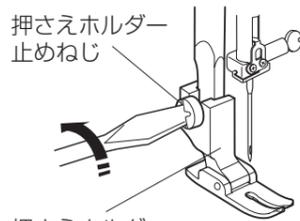
⚠ 注意

押さえホルダーの取り外し、取り付けをするときは、電源スイッチを切ってから行ってください。けがの原因になります。

※ミシンのお手入れなどのときに外します。

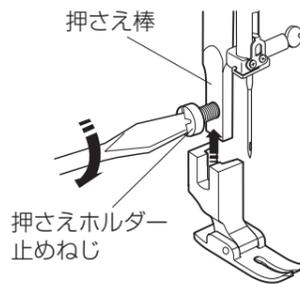
★外し方

押さえホルダー止めねじを左にまわして外し、押さえホルダーを外します。



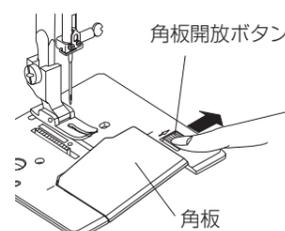
★付け方

押さえホルダーを下から入れ、押さえホルダー止めねじを右にまわして、押さえ棒に取り付けます。



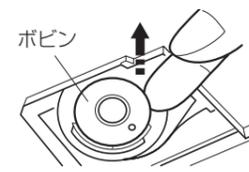
●下糸の準備

★ボビンのとり出し



①角板開放ボタンを右にずらして、角板をはずします。

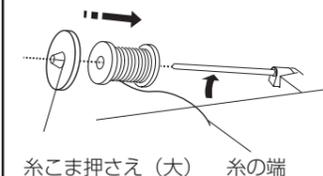
※ボビンは、必ず専用ボビンをご使用ください。他の製品を使うと、ぬい不良、または故障の原因になります。



②ボビンを取り出します。

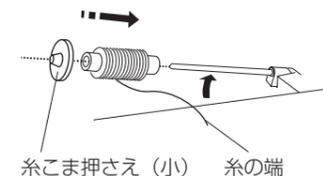
★糸こまのセット

【普通の糸こまのとき】



糸こま押さえ (大) 糸の端

【小さい糸こまのとき】

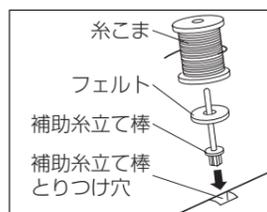


糸こま押さえ (小) 糸の端

糸の端が糸こまの下から手前になるように糸こまを向けて糸立て棒に入れます。糸こま押さえを押し付けて、糸こまを押さえます。

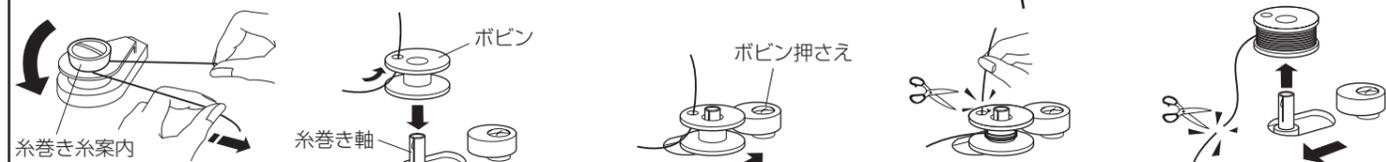
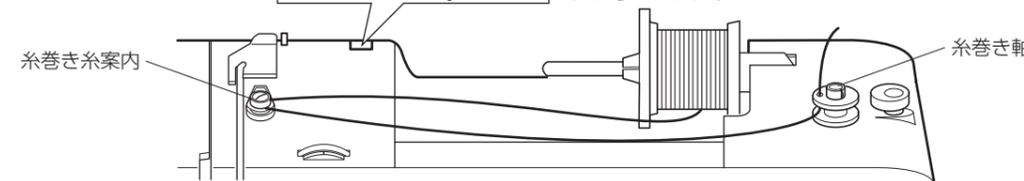
★下糸巻き

※ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用しないでください。



【補助糸立て棒の使い方】

付属の補助糸立て棒は、ミシンに付いている糸立て棒に糸こまをセットした状態のまま、別の糸こまで糸巻きをするときに使います。補助糸立て棒を使うときは、補助糸立て棒取り付け穴にフェルトと糸こまをセットします。糸の端は糸こまの右側からうしろに出るようにします。

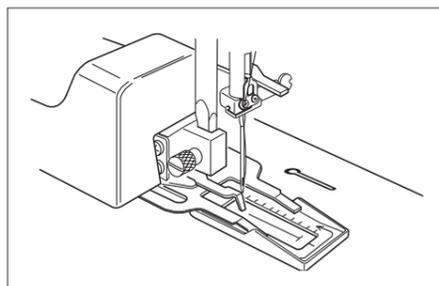


①糸こま側の糸を押さえ、うしろ側から手前にまわし、矢印方向に引いて、糸巻き糸案内にかけます。
②ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。
③ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。
④糸の端をつまんだままミシンをスタートさせ、ボビンに糸が3重ほど巻きついたらミシンを停止し、つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。
⑤再びミシンをスタートさせ、巻き終わったら、ミシンを停止します。

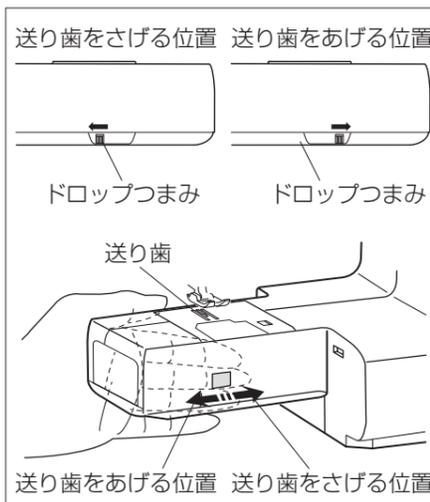
※糸巻き糸案内の下に確実に入れてください。

ボビンを左にもどし、糸巻き軸から外して糸を切ります。
※糸巻き軸は、必ずミシンを止めてから動かしてください。

●別売品ボタン穴かがり使用時のセット



別売品ボタン穴かがり



【手順 1】

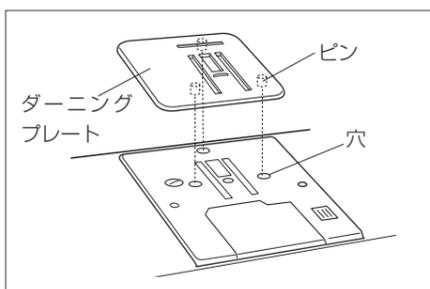
ドロップつまみを「送り歯をさげる位置」にセットすると、送り歯がさがります。
※送り歯をさげるとき、補助テーブルをはずして、ドロップつまみを動かします。

※送り歯をさげたときは、ぬい目長さを最小値 (0) にしてください。
※送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら、送り歯ドロップつまみを「送り歯をあげる位置」にもどし、はずみ車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認してください。

【手順 2】

ダーニングプレートの裏についているピンを針板の穴に入れます。

※ボタン穴かがりの付属品針板カバーは使用しません。

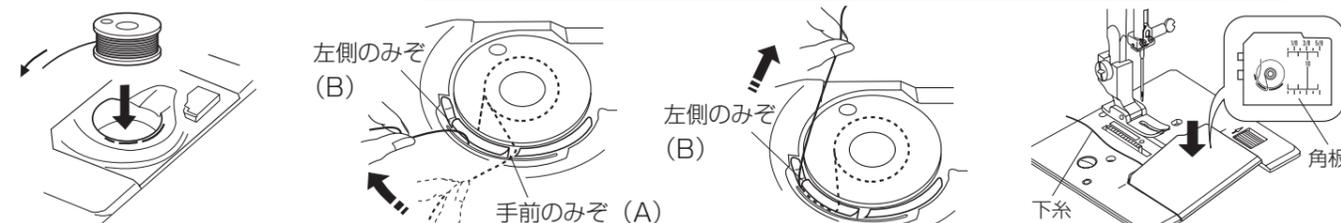


※その他のセット方法は、添付の使用説明書をごらんください。

★ボビンのセット

⚠ 注意

ボビンを内がまにセットするときは、必ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。



①糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように向けて (糸が左巻き)、ボビンを内がまに入れます。
②糸の端を引きながら、手前のみぞ (A) にかかけます。糸を引きながら左へ移動させ、左側のみぞ (B) のところに出します。
③糸を左側のみぞ (B) にかけるように、向こう側に出します。
④下糸は、10cm くらい引き出して、角板を左側からあわせて、つけます。

※糸を引き出したとき、ボビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上下逆に入れかえます。

●上糸の準備

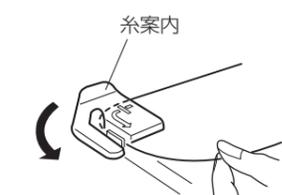
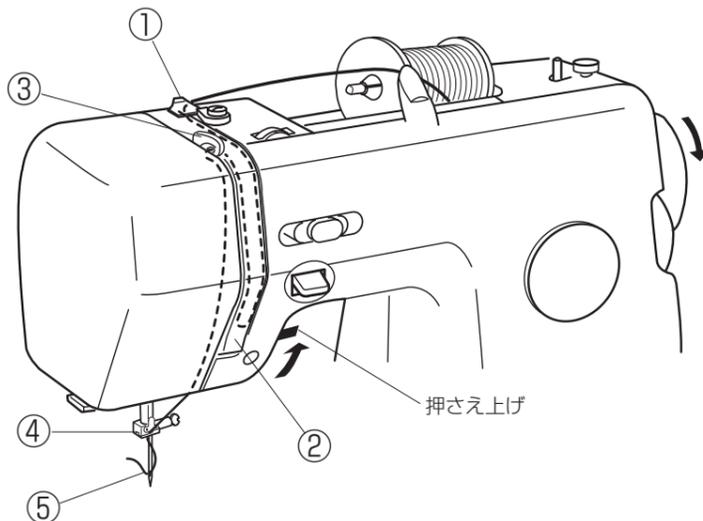
★上糸のかけ方

⚠ 注意

上糸をかけるときは、電源スイッチを切ってから行ってください。けがの原因になります。

※ 上糸かけは、必ず押さえ上げをあげて行ってください。押さえ上げがあがっていないと糸が正しくかけられず、ぬい不良の原因になります。

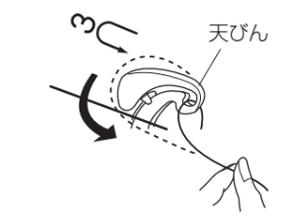
※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。



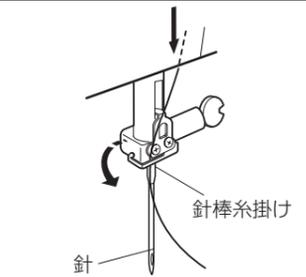
① 糸こまから糸を引き出し、押さえ上げをあげ、糸を糸案内の向こう側から右側のみぞにそって下におろします。



② 糸案内板の下をまわして左上に引きあげます。



③ はずみ車を手前にまわし、天びんをあげます。天びんには、右から後ろをまわして左へ出し、手前に引き出してまっすぐ下におろします。



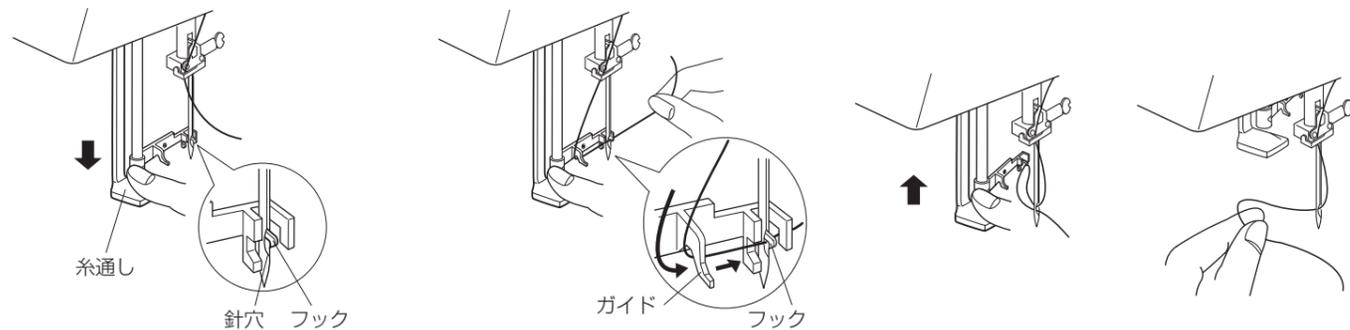
④ 針棒糸掛けに左からかけます。

⑤ 針には糸通しを使って糸を通します。

★糸通しの使い方

※ 針は、11番～16番、糸は50番～90番が使えます。

針、糸の太さによっては使えない場合があります。



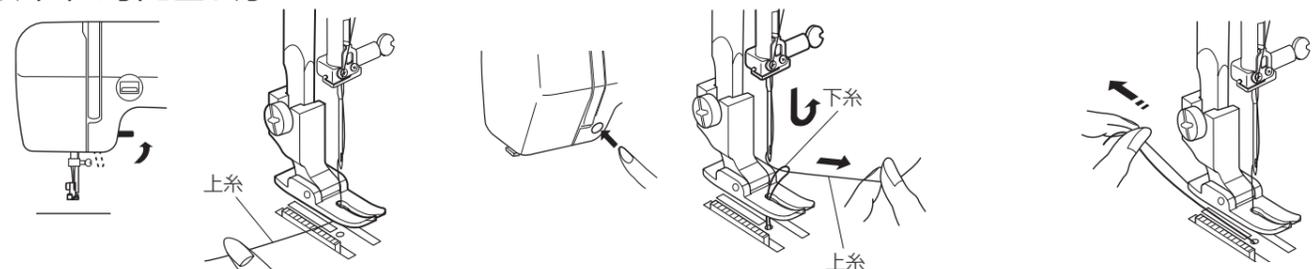
① 上下停針ボタンで針を上へあげた状態のまま、押さえ上げをさげます。糸通しを止まるまでさげます。
 ※ 糸通しが止まった位置で、針穴にフックが入っています。

② 糸を左側からガイドとフックにかけます。糸がたるまないように、ななめに上に引っぱっておきます。

③ 糸を軽く持ったまま、糸の輪を糸通しから糸通しを静かに戻すと、糸の輪が引きあげられます。

④ 糸の輪を糸通しからはずし、針穴から端を引き出します。

★下糸の引き上げ方



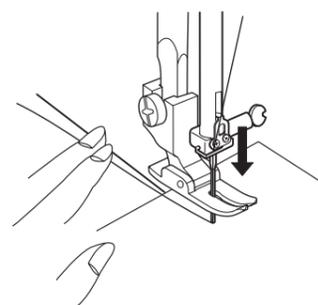
① 押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

② 上下停針ボタンを押し針をさげ、もう1度ボタンを押して針をあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

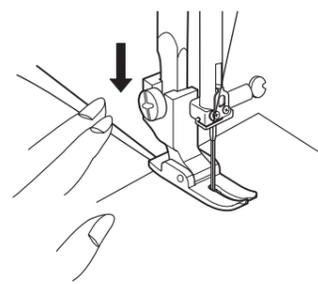
③ 上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて10cmくらい出します。

●ぬい方

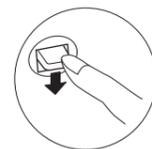
★ぬい始め



上糸と下糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわして、ぬい始めの位置に針をさします。

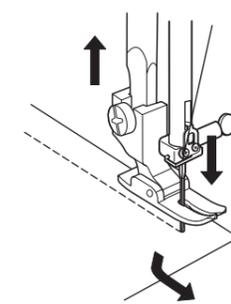


押さえをさげて、フットコントローラーをふみ込み、ぬい始めます。



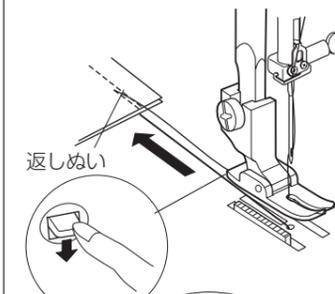
※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを使います。

★ぬい方向の変更

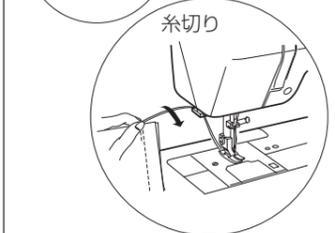


ミシンを止め、針を布に刺し、押さえをあげます。針をさしたまま、ぬい方向をかえます。

★ぬい終わり

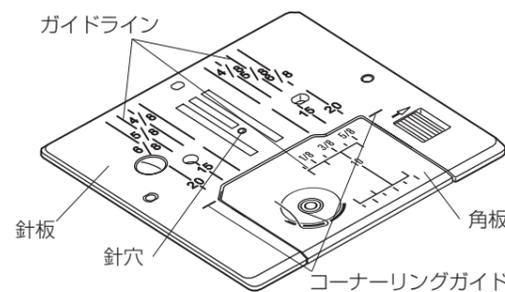


返しぬいレバーを押して、数針返しぬいをします。ミシンを止め、押さえをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。



【糸切り】
布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

●針板ガイドラインの利用



針板および角板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドラインとコーナリングガイドを表示しています。

ガイドライン

ガイドラインの数字は、針穴中央（ぬい位置）からの距離を「ミリメートル」と「インチ」で表示していて、布端をガイドラインに合わせてぬうと、ぬい幅がそろいます。

針板	角板								
数字	15	20	4/8	5/8	6/8	10	1/8	3/8	5/8
間かく (cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9	1.0	0.3	0.9	1.6

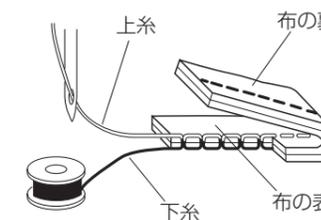
コーナリングガイド

布端から1.6cm (5/8 インチ) のところで直角にぬい方向をかえるときに使います。(ぬい方向をかえたあと、布端から1.6cm (5/8 インチ) の位置でぬうことができます。) 布端がコーナリングガイドのところにきたらミシンを止め、はずみ車を手前にまわし針を布に刺し、押さえ上げをあげ、布を直角に回転させると、布端がガイドライン1.6cm (5/8 インチ) の位置に合います。

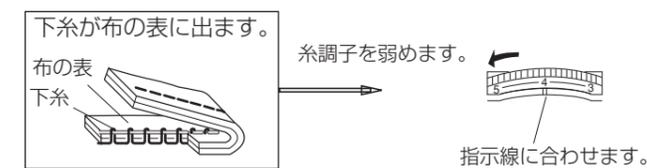
●糸調子の調節

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。

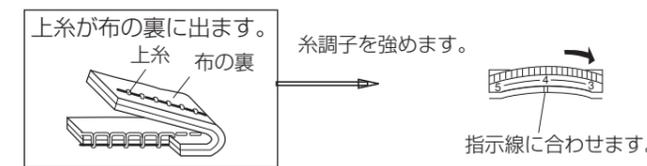
【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。



【上糸が強い場合】



【上糸が弱い場合】



●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所からみついている。糸調子皿から上糸が外れている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. むい始めに、上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6. 糸がかまなどからまっている。 7. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 	<p>上糸を正しくかけ直す。</p> <p>上糸調子を弱くする。 針を交換する。 正しくつける。 上糸と下糸をそろえる。 からまった糸をほどく。 適切な針や糸を選ぶ。</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方が、まちがっている。 2. 内がまの中に、ごみがたまっている。 3. ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。 4. 下糸がゆるく巻かれている。 	<p>正しく通し直す。 内がまの掃除をする。 ボビンを交換する。 巻く速度を速くする。</p>
針がおれる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3. むい終わったとき、布を手前に引いている。 4. 布に対して針が細すぎる。 	<p>針を交換する。 針止めねじをしっかりとしめる。 布を向こう側に静かに引き出す。 針を交換する。</p>
むい目がとび	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 布に対して、針と糸があっていない。 3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地のとき、市販のSP針を使っていない。 4. 上糸のかけ方がまちがっている。 5. 品質の悪い針を使用している。 	<p>針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 市販のSP針を使う。 上糸を正しくかけ直す。 針を交換する。</p>
むい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸と下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. むい目の長さが布に対してあらずすぎる。 5. 薄い布をぬうとき、芯地を使っていない。 	<p>上糸調子を調整する。 糸を正しくかけ直す。 針を交換する。 むい目を細かくする。 裏側に芯地をはる。</p>
布送りがうまくいかない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 送り歯に糸くすがたまっている。 2. むい目が細かすぎる。 3. 送り歯があがっていない。 	<p>送り歯を掃除する。 むい目をあらくする。 送り歯をあげる。</p>
むい目に輪ができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。 	<p>上糸調子を強くする。 針を交換する。</p>
ミシンがまわらない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに、糸やごみがたまっている。 3. 糸巻き軸が、下糸を巻いたあと元に戻っていない。(糸巻き状態になっている。) 	<p>プラグを正しく差し込む。 かまの掃除をする。 糸巻き軸に戻す。</p>
音が高い	<ol style="list-style-type: none"> 1. かまの部分に糸くすが巻きこまれている。 2. 送り歯にごみがたまっている。 	<p>かまの掃除をする。 送り歯の掃除をする。</p>

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理のつきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後も、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。

ただし、次のような場合は修理できないときがあります。

- 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
- 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
- 4) お買い上げ店、または当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。

- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

仕	様
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	45W
外形寸法	幅 40cmX 奥行 17cmX 高さ 30cm
質量	8kg
使用針	家庭用 HA X 1
最高むい速度	毎分 800 回転

お客様の相談窓口

お問い合わせのある場合には、下記にお申し付けください。

株式会社 ベビーロック
東京都千代田区九段北 1-11-11
TEL. 03-3265-2851

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

751-800-993 ①